

官庁出願

特許願 3

請

昭和49年6月3日

特許庁長官 齊藤英雄 殿

1. 発明の名称  
多層回転円板式油回収機の性能向上のための油掻き込み装置

2. 発明者  
住所 神奈川県川崎市多摩区百合ヶ丘3丁目9番3号  
氏名 榎田 靖夫  
住所 東京都世田谷区経堂2丁目29番6号  
氏名 一色 尚次  
住所 東京都武蔵野市吉祥寺北町1丁目18番25号  
氏名 上田 浩一

3. 出願人  
住所 東京都三鷹市新川6丁目38番1号  
電話 0422-45-5171(代表)  
氏名 運輸省船舶技術研究所長 濱田 昇

4. 添付書類の目録

- 1 明細書 1通
- 2 図面 1通
- 3 出願審査請求書 1通
- 4 譲渡証書 1通



明 細 書

1. 発明の名称

多層回転円板式油回収機の性能向上のための油掻き込み装置

2. 特許請求の範囲

多層回転円板式油回収機の性能向上のために水吸引装置①を設け、その効果をよくするための板⑥を設け、油が漏れて流れるのを防ぐための板兼油回収タンク⑤を用いた、多層回転円板式油回収機の性能向上のための油掻き込み装置。

3. 発明の詳細な説明

多層回転円板式油回収機とは、水面上に流出した油を回収する装置である。この油回収機は回収する回転円板まで安定した油層を供給する装置と回転円板によりすくいあげる装置からなる。双胴船型の油回収船として使用する場合に、この回収円板まで安定した油層を供給することが重要である。双胴船を自走させても、双胴船等による動圧により安定した油層の供給が妨げられる。これら

給する装置が本発明である。

この発明は、第1図の水掻き①により水②を吸引することにより、安定した油層を回転円板③に供給し、回転円板により油④はすくいあげられ、ワイパー⑤により油は掻き取られて、とい⑥に落下し、落下した油は、回収タンクに集められポンプ等で回収する装置である。水掻き①だけでは、十分に油層を回転円板③に供給することはできない。そこで十分に油層を回転円板③に供給することを容易にするために底板⑥を取り付け、油層が漏れて流れることを防ぐための板と油回収タンクとを兼ねたもの⑤を取り付けてある。第2図は、従来ある羽根⑦を油掻き込み装置として用いた油回収装置の一実施例である。円板上に油掻き込み用の羽根⑦を用いているため、油層が薄い時には回収油中に水分を掻き込みやすい。

本発明による方法は、油層が薄い場合にも回収する回転円板のところに油層が安定して供給されるために、回収油中の含水量が少なく、また回転円板上に羽根を付けないために回収に寄与する有

19 日本国特許庁  
公開特許公報

①特開昭 50-153356

④公開日 昭50.(1975) 12. 10

②特願昭 49-61791

②出願日 昭49.(1974) 6. 3

審査請求 有 (全2頁)

庁内整理番号  
6825 33

⑤日本分類  
72 C22

⑤Int. Cl.<sup>2</sup>  
B01D 17/00  
E02B 15/04

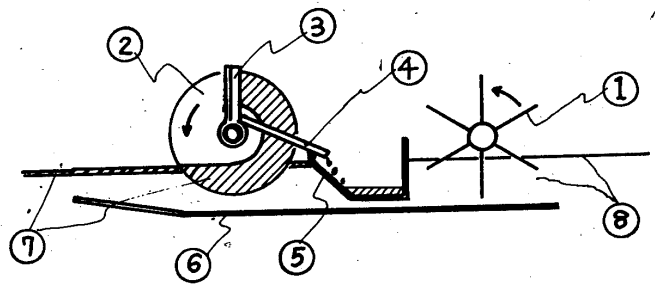
効面積を大きくでき、したがって回収量を多くできる。

また、水掻き①を回収用円板の後に取り付けることが、安定油層を流入させるための重要なことであり、この方法によつて表層油の流れがよくなり、この油掻き込み装置の効果は大きい。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、多層回転円板式油回収機の性能向上のための油掻き込み装置の実施例を示す。第2図は、従来の羽根を油掻き込み装置とした油回収機を示す。

第1図



第2図

